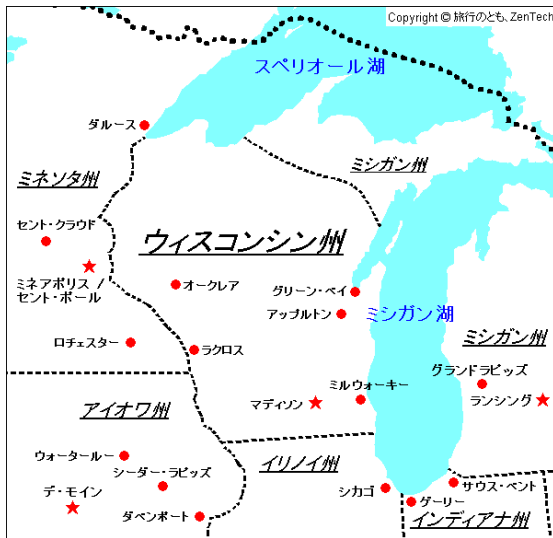




ウィスコンシン州



人口 約556万人

州都 マディソン(人口は約21万人)

最大都市はミルウォーキー

「ウィスコンシンのたたかいに学ぶ」学習会追加資料

別の講演会で使用された資料です(大阪 WSF 提供)

2011年ウィスコンシン市民蜂起の日誌

2010年11月 スコット・ウォーカーが知事に当選(113万票、52%対47%)。

2011年1月3日に知事就任

1/25 州議会が知事提案の法人税引き下げ法案を可決

2/11(金) 財政再建法を提案

2/12(土)ウィスコンシン大学で学生・教員助手が集会。

2/14(月)ウィスコンシン大学の学生・教員助手が集会後、州議事堂へデモ。マディソン教員組合(MTI)が組合員に4日間(2/16~21)の職場放棄・デモ参加を呼びかけ。

2/15(火)州議事堂の内と外で数万人がデモ。両院の公聴会(約17時間)で法案に抗議。

2/16(水)州議事堂前に3万人。教員組合の職場放棄によって州内の多くの公立学校が休校。

2/17(木)州議事堂前に2万5千人。上院の民主党議員14人が州外へ退去(法案の採択を阻止するため)。オハイオ州でも同様の動きに対する抗議運動が始まる。

2/18(金)AFL・CIOのトルムカ委員長が州議事堂前の集会で連帯を表明。

2/19(土)州議事堂前に7万人。

2/20(日)州議事堂を占拠

2/23(水)地元紙の記者が悪戯でデービッド・コークを名乗ってウォーカー知事に電話。この会話の内容が暴露され、知事に対する反発が高まった。

2/25(金)知事が州議事堂の閉鎖とデモ隊排除の命令を出すという噂。これに対して州の警察官組合の委員長がデモへの支持を表明、非番の組合員に州議事堂の泊込みに参加するよう指示。

2/26(土)集会に7-10万人が参加。全国の多くの州で連帯集会。

2/27(日)ウォーカー、法案のうち財政措置が関係する部分を除外する妥協案を提案(財政措置が関係しない場合、法案の可決要件が単純過半数になる)

3/3(木)州議事堂の警備が厳重に(武器が見つかったという理由)。裁判所が州議事堂への泊込みを禁止する命令。州議事堂占拠が終結。

3/5(土)マイケル・ムーアが集会で連帯を表明。

3/9(水)公務員組合の団交権を制限する法案が上院で可決(18-1、民主党は欠席)。財政に関連する部分は除外。

3/10(木)下院で可決(53-42)。

3/12(土)州外に退去していた民主党上院議員が帰任。18万人が歓呼で迎える。

4/16(土)ティーパーティーがサラ・ペイリンを招いて集会。抗議のデモに包囲される。

7-8月 一連のリコール運動で、共和党上院議員2人が議席を失う。

11月15日、ウォーカー知事ボイコット署名が始まる。12年1月17日までに100万人以上の署名が集まる(選管発表では、有効数は92万人)。

2012年6月5日 ウォーカー知事のリコールに伴う再選挙で、ウォーカーが再選される。133万票(53.1%)対116万票(46.3%)